

伊万里市立大坪小学校いじめ防止基本方針

1 いじめ防止等のための基本的な方向性

いじめは、「どの学校、どの学級、どの児童にも起こりうる」という基本認識に立ち、本校児童が安心して楽しく豊かな学校生活送ることができる、いじめのない学校を確立するために、「伊万里市立大坪小学校いじめ防止基本方針」を策定した。

本校における「いじめ防止のための基本的な姿勢」を以下のとおり示す。

- (1) いじめを許さない学校、学級をつくり、思いやりのある子どもを育成します。
- (2) 人権意識を高め、声明を尊重する教育を推進します。
- (3) 温かな人間関係を築き、認め合い、支え合う学校を創造します。
- (4) 適切な指導を迅速に行い、いじめ問題を早期に解決します。
- (5) いじめ問題について、保護者・地域・関係機関との連携を深めます。

また、伊万里市が平成18年に行った、「いじめなし都市宣言」に則り、学校・家庭・地域がそれぞれの持つ役割を明確にし、一体となっていじめなし都市の実現に向けて取り組む所存である。

2 「いじめに対する基本的な考え方

「いじめ」とは、当該児童と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の**対象となった児童が心身の苦痛を感じているもの**をいう。

本校では、「いじめ」を訴えてきた児童の立場に立ち、その訴えを真摯に受け止め、児童を守るという立場に立って事実関係を確かめ、対応にあたる。

具体的ないじめの態様として以下のような事案等がある。

- ・冷やかし、からかい、悪口や脅し文句等、嫌なことを言われる。
- ・仲間外し、集団による無視。
- ・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり蹴られたりする。
- ・金品をたかられる。
- ・金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたりする。
- ・嫌なことや恥ずかしいこと、危険なこと等をさせられる。
- ・インターネット上で、個人情報を書けられたり、誹謗中傷をされたりする。

3 いじめを未然に防止するために

(1) 学年・学級経営の充実

ア 一人ひとりが認められ、お互いを尊重し合い、学級の一員としての存在感を自覚できるような学年・学級づくりを行う。(役割を与える。達成感を味わわせる。相手のよさを見つめる等)

イ ルールを守るという規範意識の醸成に努める。(ルールのもとの平等)

ウ 一人ひとりがかけがえのない存在であること、周囲の人に支えられているという、

「命の大切さ」「感謝の心」「を道德の時間をはじめとする教育活動全般で培う。

→「命の教育」指導資料・「伊万里っ子しぐさ」等の活用

エ 「いじめは決して許されないこと」「見て見ぬふりをするのもいじめにつながる
こと」という認識を児童が持つよう、様々な活動の中で指導していく。

(2) 職員研修

ア 一人ひとりとの信頼関係を深め、**児童が居場所**を感じ、**充足感**を得られるための
学級づくりのための研修の場を確保する。

イ がばいシートを活用し、実態把握を行うとともに、その情報を分析し、よりよい
学級経営の在り方を研修する。

ウ ソーシャルスキルトレーニングと構成的グループエンカウンターについて研修
を行い、集団づくりについて生かしていく。

エ 校内研究と連動し、わかる授業、達成感、成就感のある授業づくりに努める。

(3) 学校全体として

ア **いじめに関するアンケート調査を学期に2～3回実施**し、結果に基づいた道德及
び学級指導を実践していく。また、結果については保護者にも知らせ、同じ目線で
児童の指導にあたっていく。

イ いつでも、だれでも相談できる体制をつくる。

ウ 「いじめ問題」に対して、児童会としての取り組みを行う。

4 いじめの早期発見に向けて

(1) 変化に気づく

ア 児童の様子を多くの教員で見守り、気づいたことを共有する場を設ける。

イ 様子が気になる児童については積極的に声をかけ、児童の安心感をもたせる。

ウ **定期的なアンケート調査**を活用し、人間関係や学校生活での悩み等の把握に努め、
ともに解決していこうとする姿勢を示して、信頼関係を深める。

エ 保護者・地域からの情報収集を積極艇に行う。

(2) 相談体制の確立

ア 担任だけでなく、**教育相談担当者、スクールカウンセラーなどを含めた相談体制**
で児童の声を聞き取る。

イ まず、いじめられている児童の話をじっくりと聴くことに心がけ、いじめから守
る姿勢で対応する。

5 いじめ事案への対応

(1) いじめではないかという事案を覚知した場合は、速やかに校内委員における委員
会を招集し、該当児童や関係者から事実確認を行い、いじめの可能性がある」場
合には市教育委員会への第1報を行う。

(2) いじめであると認知した場合は、その認知に至った経緯について外部の対策委員
を含めた常設の委員会を組織し、情報を共有するとともに、被害児童を守り、
加害児童に対しては人格の成長を旨とした教育配慮のもと、毅然とした態度で指
導するための方策を速やかに検討し、実行する。

- (3) 特に重大であることを認知した場合には、市へ「学校いじめ対策委員会」を要請し、関係機関の協力を得ながら、迅速にいじめ解消にあたる。

6 校内体制について

(1) いじめ対策委員会の構成委員

校長・教頭・教務主任、生徒指導主任、養護教諭、教育相談担当者、スクールカウンセラー、学校評議員の他、事案に応じて担任等を加える。

(2) いじめ対策委員会の役割

- ア 本校におけるいじめ防止等の取り組みに関すること。
- イ 相談内容の把握、児童・保護者へのいじめ防止の啓発等に関すること。
- ウ 訴えがあったいじめの調査に関すること。
- エ 覚知・認知されたいじめの解消にあたること。

7 点検及び評価について

上記の取り組みに対して以下の項目について点検・評価を行う。

- (1) 日常の児童の観察やいじめにつながる実態の早期発見に努めてきたか。
- (2) 児童の変化や変容、気になる児童の現状について教職員で情報交換ができているか。
- (3) 学校行事や節目ごとに学級の現状に合わせた学級経営の見直しが図られているか。
- (4) 保護者などとの連携はできているか。
- (5) 迅速、的確な対応ができているか。

なお、下記の点検項目を参考し、実態把握に当たる。

「教育現場における安全の手引き ～佐賀県教育委員会」

1 登校時から始業時までの観察ポイント

- ☐ 他の児童よりも早く登校したり、遅く下校したりする。
- ☐ いつも一人で登下校するか、友達と登校しているが表情が暗い。
- ☐ 自分からあいさつしようとせず、友だちからのあいさつや言葉かけもない。
- ☐ 元気がなく顔色がすぐれない日が続いている。
- ☐ 理由のはっきりしない遅刻・早退を繰り返し、欠席も目立ってくる。

2 授業・学級活動等の時間の観察ポイント

- ☐ 授業が始まってから、一人遅れて教室に入る。
- ☐ 体の不調を訴え、度々保健室やトイレに行く。
- ☐ 以前に比べて、声が小さい。ぼんやりしていることが多い。
- ☐ うつむきかげんで発言しなくなる。
- ☐ 指名されると、他の児童がニヤニヤする。
- ☐ 教職員が褒めると、周りの子があざけ笑ったりしらけたりする。
- ☐ 何人かの視線が集中したり、目配せなどのやり取りがある。
- ☐ 発言するとやじられたり、笑われたり、冷やかしの声があったりする。

- ☐ 学習意欲がなくなり、成績が急に下がり始める。
- ☐ 配布したプリント等が渡っていない。
- ☐ グループ活動の際、一人だけ外れている。
- ☐ ふざけた雰囲気の中で、係や委員に選ばれる。
- ☐ 特定の児童の持ち物に触れることを嫌がる児童がいる。
- ☐ 教科書・ノート等が紛失したり、落書きされたりする。
- ☐ 作品が傷つけられた李、放り投げられたりする。

3 休み時間の観察ポイント

- ☐ 仲の良かったグループから外れ、教室や図書室でポツンとしている。
- ☐ 一人で廊下や職員室付近をうろうろしている。
- ☐ 用がないのに保健室や図書室で過ごすことが多い。
- ☐ 教職員に寄って来たり、触れるようにして話したりする。
- ☐ 保健室に行く回数が多くなり、教室に戻りたがらない。
- ☐ 友達と過ごしているが表情は暗く、おどおどした様子でついて行く。
- ☐ 遊びの中で笑いものにされたり、からかわれたり、命令されたりしている。
- ☐ 遊びの中で、いつも嫌な役をさせられている。
- ☐ 遊びで使った道具等の後始末をいつもやらされている。
- ☐ 周りの友だちに異常なほど気遣いをしている。
- ☐ そばを避けて通るなどの嫌がらせが見られる。

4 下校時の観察のポイント

- ☐ 下校が早い。あるいは用もないのにいつまでも学校に残っている。
- ☐ 玄関や校門付近で不安そうな顔をしておどおどしている。
- ☐ いつも友だちの荷物を持たせられる。
- ☐ 靴や傘等の持ち物がなくなる。

5 その他

- ☐ 給食の時間、机が微妙に離され、一人でさみしく食べている。
- ☐ 給食のメニューによって異常に盛りつけられたり、量を減らされたりしている。
- ☐ 清掃時間、みんなが嫌がる仕事や場所が割り当てられる。
- ☐ 清掃時間、他の児童から離れて掃除や後始末をしている。
- ☐ 集団行動や学校行事に参加することを渋る。
- ☐ 理由のはっきりしない衣服の汚れやけがなどが見られ、隠そうとする。
- ☐ 日記やノート等に不安や悩み、陰りを感じる表現が見られる。
- ☐ 社会体育をよく休むようになったり、急にやめたいと言い出したりした時の情報得る。